

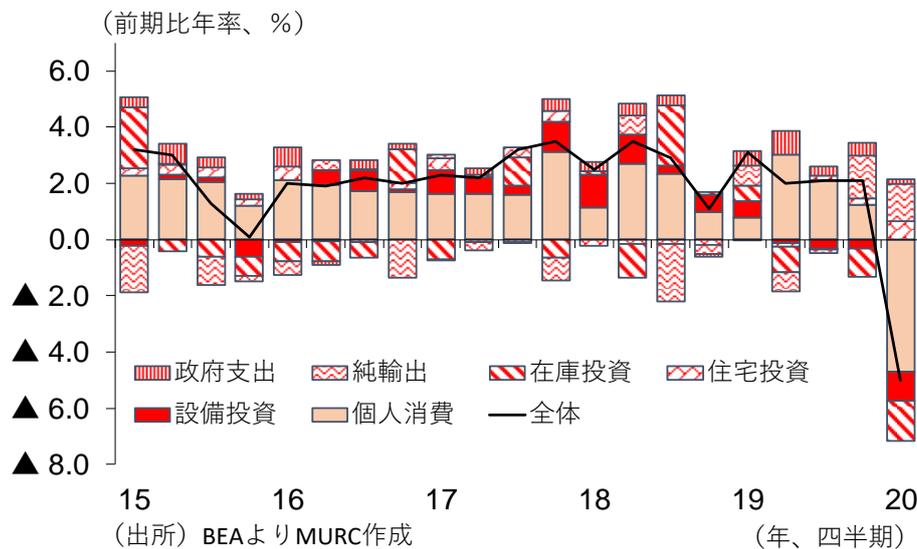
# 米国景気概況(2020年6月)

調査部

## 概況 ～ 景気は急速に悪化

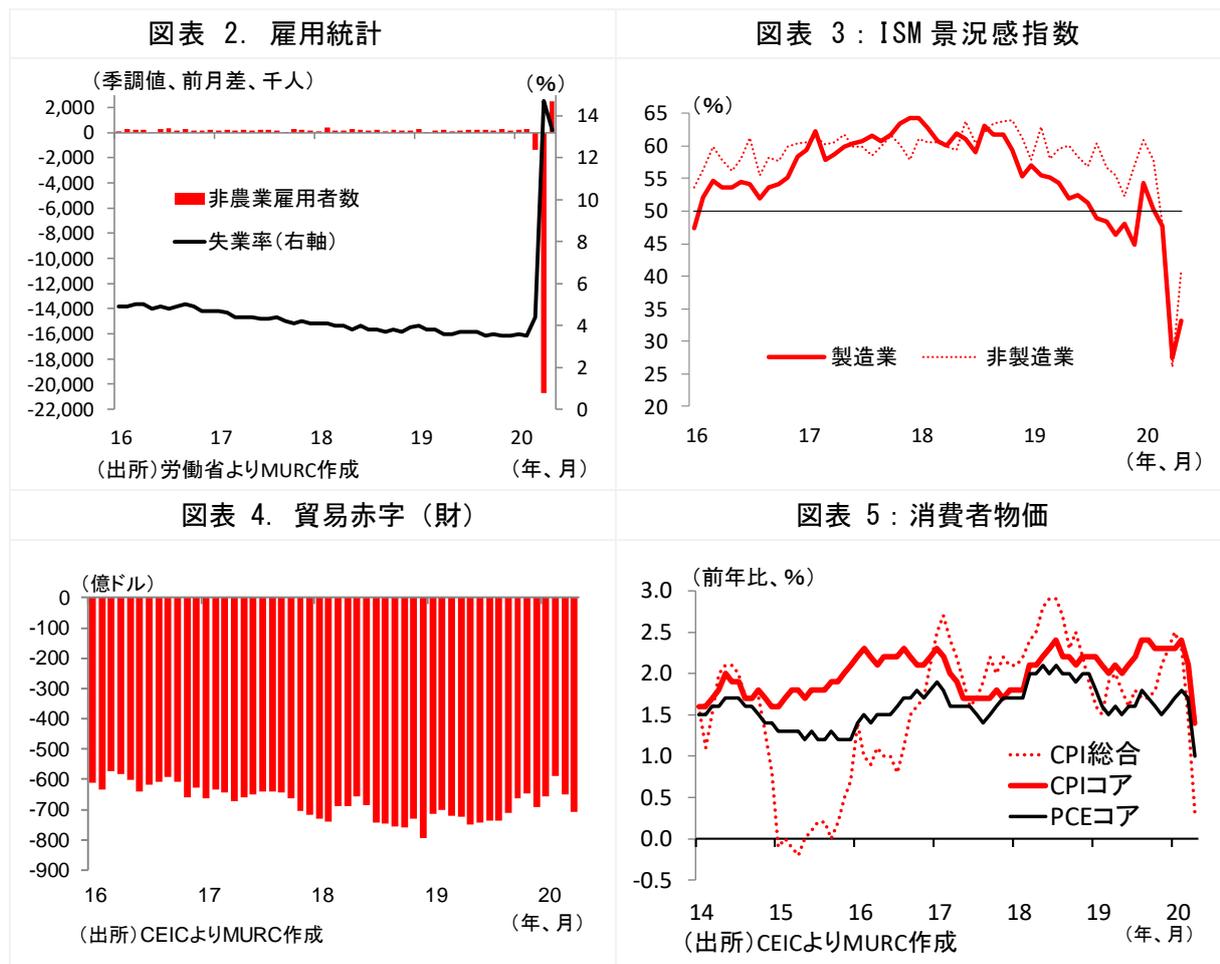
- ・ 米国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の悪影響で急速に悪化している。第1四半期の実質 GDP 成長率は前期比年率▲5.0%と、リーマンショック時の2008年以来の大幅マイナスとなった。厳しい外出制限で運輸、飲食・宿泊関連の需要が急減したほか、企業の生産活動の休止が相次いだことが影響した。需要項目別には、個人消費（同-6.8%）が最大のマイナス寄与に転じたほか、設備投資（同-7.9%）、在庫投資（-1.4%pt）の下押しが続いた。
- ・ 一方、足元では経済活動が段階的に再開され、5月の経済指標では一部に下げ止まりの動きもみられる。新たな生活様式の下、小売業やサービス業の売上高が緩やかに持ち直すとみられ、景気は第2四半期に底入れする見通しである。ただし、新しい生活様式への対応が進まず経済活動の回復が遅れたり、感染者が再び拡大した場合はマイナス成長が続く可能性があり注意が必要である。

・ 図表1：実質 GDP 成長率の推移（改訂値）



**【経済指標】**

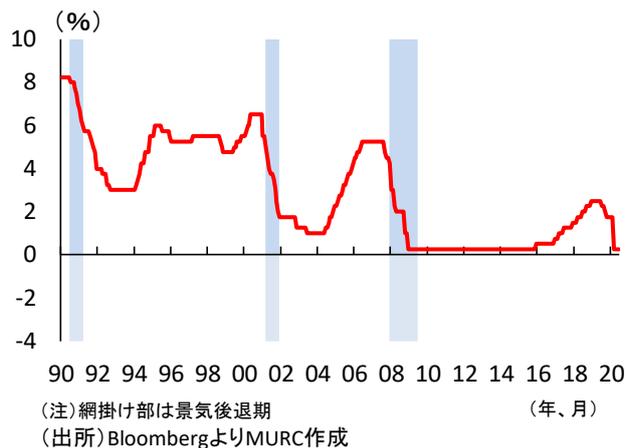
- 5月の非農業部門雇用者数は前月差251万人増加し、失業率は13.3%と高水準ながら小幅改善した（図表2）。飲食業、宿泊業が含まれる「娯楽・接客業（Leisure & Hospitality）」の雇用者が124万人増加した。一方、4月の実質個人消費は前月比-13.2%と過去最大の減少率を記録した。
- 企業部門では、4月の鉱工業生産が前月比-11.2%と、1946年以来の減少幅を2ヶ月連続で更新した。また設備投資の先行指標である4月のコア資本財受注は同-5.8%と一段と減少した。一方、5月のISM景況感指数は、製造業が33.8、非製造業は41.0と、約11年ぶりの低水準となっているが、前月よりやや改善がみられた（図表3）。
- 海外部門では、4月の財輸入は前月比-21.1%と急減したが、財輸出は同-29.5%と輸入を上回る大幅減となった。この結果、貿易赤字（財、▲697億ドル）幅は2カ月連続で拡大した（図表4）。赤字額を国別にみると、対カナダ（▲4億ドル）、対メキシコ（▲33億ドル）の赤字幅が縮小した一方、最大の赤字国である対中国（▲260億ドル）の赤字幅は拡大に転じた。
- 物価指標のうち、FRBが重視するコアPCEデフレーターは2%の目標水準を大きく下回る動きが続いている。4月は前年比+1.0%と前月に続き一段と鈍化した（図表5）。



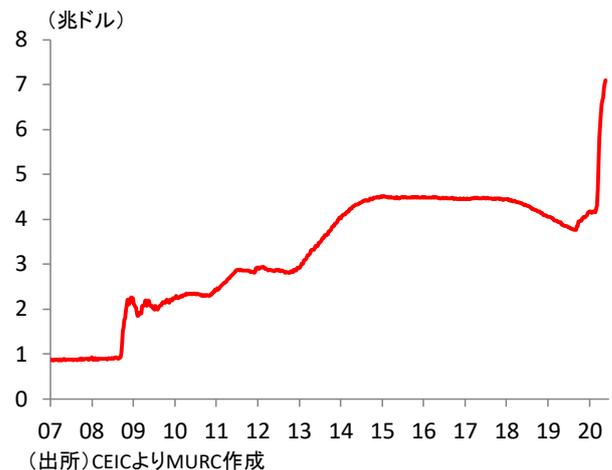
## 【金融政策・金融市場】

- 新型コロナウイルスの感染拡大で金融市場が混乱に陥る中、FRBは3月に臨時の連邦公開市場委員会（FOMC）を3回開催、ゼロ金利政策への回帰、量的緩和策の再開や購入額の無制限化などを相次ぎ決定した。また、4月9日には中小企業向け融資や社債購入策など総額2.3兆ドルの資金供給策を公表した。4月29日に開催された前回FOMCや、その後のパウエル議長の講演では、景気下支えのために今後もあらゆる措置をとることが表明された。
- 次回のFOMC（6月9～10日）では、金融緩和の効果を高める方策を議論する。短期・中期金利を低く抑えるため、米国債の利回りに上限目標を設定する手段についても話し合われる見通しである。就業者が増加し失業率も改善したため、景気は大底を打ったとの楽観論も広がるが、パウエル議長は会合後の会見で、景気の先行きにはなお慎重な姿勢を示すものとみられる
- 金融市場をみると、ダウ平均株価は、3月23日に約3年4ヶ月ぶりの安値（18,591ドル）をつけた後、経済活動再開観測から上昇傾向にある（6/5終値27,111ドル）（図表8）。こうしたなか長期金利は0.8%台へ上昇している（図表9）。

図表 6：政策金利



図表 7：FRB 総資産



図表 8：ダウ平均株価



図表 9：長期金利



ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp